

2011.8.5

中国風険消息＜中国関連リスク情報＞ 特別号3

＜2011 No.6＞

「風険消息＜中国関連リスク情報＞」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌です。「月刊」と「特別号」の2種類に分けて発行し、「月刊」では、中国における種々のリスク（自然災害、法令違反、情報漏えい、労務リスク等）について、発行の前月に公表・報道された主要ニュース一覧と、ニュースに関連するお役立ち情報を簡潔に記載しています。また、「特別号」では、時節に応じた話題や、社会の関心が高いトピックを取り上げて解説しています。

今号のお役立ち情報：2011年 台風シーズンに備えて

2011年も夏本番に入り、台風と暴雨が各地で最も発生するシーズンとなりました。毎年この台風等の襲撃で、工場・倉庫等事業場に多くの経済的損失が生じます。先の日本で発生した東日本大震災でも、大きな影響がありましたが、たとえ自社事業場が罹災していなくとも、原材料メーカーや完成品工場が罹災したこと等により、製造工程や物流網にダメージが発生するといった、SCM（サプライ・チェーン・マネジメント）の観点からも、リスク対策が重要と言えます。

そこで、今回の中国風険消息は、2011年各地の最新台風動向に関する情報も交え、対策等をご紹介します。貴社リスク対策の一助となれば幸いです。

1 2010年中国の台風事情

中国気象局が公布した「中国気候公報」によると、2010年、西太平洋と南海で発生したサイクロンの数は14個（サイクロンの強度は下記）で、平常年同期の台風数（25.8）より少ない数でした。なお、その内8個が、台風以上の強度であり、超強台風が2個、強台風が3個、台風が3個、それ以下では、強熱帯ストームが4個、熱帯ストームが2個でした（熱帯低気圧は5個）。例年、華南地区が最も大きな影響を受けます。同地区沿岸に上陸したサイクロンの数は7個、平常年同期の数（6.8）とほぼ同数でした。台風の発生時期と上陸場所は集中傾向にあり、8月末から9月初旬までの10日内で発生したサイクロンの数は5個に上りました。

中国では「国家気象局」により、下記の区分がされています。

台風以上強度：台風（typhoon）、強台風（severe typhoon）と超強台風（super typhoon）を指します。

台風以下強度：熱帯低気圧（Tropical depression）、熱帯ストーム（Tropical Storm）と強熱帯ストーム（Severe tropical storm）を指します。

（本資料では、これらを総称してサイクロンと表します。）

2 2011年の台風予測

各地の気象局や関連機関から、今夏を中心とした台風予測が発表されています。これらの情報も参考とし、貴社事業場内の台風対策を講じることをご検討下さい。



広東省

気象庁の予測では、今年広東省に、上陸または広東省海岸に重大な影響を与えるとされるサイクロンは、5～7個、その内、4～6個は広東省海岸に上陸し、更に1～2個は超強台風で広東省海岸を直撃する見込みです。

※ 出典：中国江門 web サイト



福建省

予測では、今年福建省を襲撃するとされるサイクロンは例年より多く、8個前後となる模様で、非常に厳しい状況と見られます。その内、夏の1～2個は福建省に大きく影響すると予測されています。

※ 出典：中国道路情報サービス web サイト



浙江省

海洋予報台の予測資料では、2011年、浙江沿岸に影響する台風は5～6個となり、主要影響時期は7月から10月までと予想されます。去年の状況と異なるのは、8月中旬から9月下旬までに、1～2個の台風が浙江省に重大な影響を及ぼす見込みという点です。

※ 出典：sina ニュースセンター



上海市

2011年5月30日に開催された上海市の治水会議では、2011年増水期(5～10月)の上海の降水量は、平年よりやや少なく、上海に影響する台風の数はいくつかで、過去10年の平均値とほぼ同じです。

上海市では、既に2011年の防災作業を全面的に開始しました。具体的には、台風、雷雨、竜巻、雹等に対する防止策を今年のポイントとして、治水施設の完全整備と防災措置の実施を確保するために監督と検査の強化作業が展開されています。

※ 出典：新華 web サイト

3 過去の災害

人民日報では、中国は、世界中で最も台風災害を大きく受ける国の一つだと報じています。海岸沿いの南から北までの各省・市は、全て台風の襲撃を受ける可能性があります。台風の上陸で生じる降雨は、土砂崩れ、地滑り、さらに感染症のような二次災害をもたらします。

2009年 8月 “Morakot”

中国大陆において、Morakot は、巨大な損害を引き起こし、被災地は福建、浙江、安徽、上海まで拡がり、多くの住居が停電、停水となり、道路が崩壊、多くの市町村が埋没しました。1.6 万軒以上の家屋が破壊され、経済損失額は 95 億元、保険市場の損失額は 3.4 億元に上ったと言われています。

2010年 10月 超強台風“メーギー”

2010 年 10 月 23 日には、同年世界最強の台風“メーギー”が福建省に上陸して、15 県(市、区)、121 町村、約 65 万人が影響を受け、500 軒の家屋が倒壊し、緊急移送人数は約 31 万人、約 26 万ヘクタールの農作物が災害を受け、直接経済損失額は 16 億元に上ったと言われています。



出典: 磐安新闻网、新华网

大惨事にならないために、我々のできることは何か…?

4 予防対策

■ 台風到来の前に

各企業では様々なリスク対策を常日頃から施されているかと思いますが、台風や暴雨自体の来襲を防ぐことは出来ません。一方、台風が来る直前だけの対策では、不十分です。常日頃から万一の来襲を想定した資材の準備等のハード対策、訓練等のソフト対策を入念に対応しておくことが望まれます。

台風シーズンが近づいている現時点で、注目すべきと考えられるポイント：

- 1) 漏水防止：壁、屋根、配水管等の隙間、詰まり、窓の破損の有無について再確認を行い、天気予報に基づき、台風到来の前に再度防水検査を行う。
- 2) 風対策：シャッターがスムーズに昇降できるか、上方の伝動装置が故障していないか、支柱及び中柱に変形破損がないか、強度が確保できているか等についてチェックする。

■ 台風襲撃

強い台風には常に豪雨が伴い、各地の河川と地形の特徴によっては重大な影響が生じます。強烈な豪雨は、洪水や土砂崩れ等の災害を招き、工事事故、ダムの決壊、農作物の浸水等の重大な経済的損失をもたらします。特に地形が低く、塞がれている地域では、積水が上手く流されず、浸水等により、一層損害が拡大します。

豪雨到来時に、どう対策すべきか：

- [1] 緊急対応計画に基づき、人的、物的対策に取組んで事業場内の積水を流す。
- [2] 地面の排水施設において、詰まりの有無を検査して、詰りがあれば、直ちに処理する。
- [3] 電動設備の使用時には、感電等の人的傷害の発生にも注意する。
- [4] 現地で公布される最新気象情報に注目する。

豪雨到来時には、緊急対応計画に基づき、人的、物的措置を取って雨水が重要な建物に浸入するのを防ぎ、出来る限り財産損失を減らすことが重要です。

■ 台風の後

各部門は各自の重要業務を回復させ、継続する。

業務回復の主な流れ：

- [1] 重要業務の損害状況を確認し、回復の優先順位を決める。
- [2] 被害業務に関わる必須資源（人員、システム、設備等）を把握する。
- [3] 代替策の実施と早期回復活動（人員確保、材料仕入、設備修復、データ復元等）を優先的に実施する。

なるべく短時間内に事業活動のレベルを高めるためにも、重要な業務を中心に、事前に策定したアクションプラン等に基づいて回復作業を行う。

5 台風についての知識

< 警報内容の解説(例) >

気象局から各省・自治区・直轄市気象局等に4段階で警報を発することが義務付けられています。気象警報は、“暴雨”“雷雨”“台風”“高温”“霧”“大風”“寒波”“雪”“砂塵”など11種類があり、危険度を4段階に分けた警報信号によって発信されます。

マーキングは災害種類を絵文字で示し、危険度4段階を“青”“黄”“オレンジ”“赤”の色彩で表示しています。上海市の場合、上海気象局上海中心気象台からのラジオ・テレビ等の媒体を通じて15分以内に配信されるようになっており、テレビでは、これらマーキングを画面上に映し出すことにより、多くの人がタイムリーに確認できるようになっています。

○台 風(含む熱帯低気圧)

青	24時間以内に台風・熱帯低気圧の影響を受ける可能性。 平均風力6級以上、突風により一時的に7級以上の予想。 6～7級: 約11～17 m/sec	防風準備 台風に関する最新の報道と防風通知に注意。 扉、窓、仮構造物など、構造物を固定し、屋外物品を安全な場所に移動。
黄	24時間以内に台風・熱帯低気圧の影響を受ける可能性。 平均風力は8級以上、突風により一時的に9級以上の予想。 8～9級: 約18～24 m/sec	警戒体制 幼稚園、保育園は休み。屋外での集団活動停止。 扉と窓を閉め、危険地域住民と船舶の移動。高所・水上など屋外作業停止。 ネオン及び危険な屋外電源は OFF。
オレンジ	12時間以内に台風・熱帯低気圧の影響を受ける可能性。 平均風力は10級以上、突風により一時的に11級以上の予想。 10～11級: 約25～32 m/sec	特別警戒体制 中小学校休校。屋外外出禁止。屋内大規模集会中止。 緊急対応部門と緊急救助部門は災害状況を監視、対策を徹底。 埠頭施設の管理を補強、船舶の座礁・衝突を防止。
赤	6時間以内に台風・熱帯低気圧の影響を受ける可能性。 平均風力は12級以上の予想。 12級: 約33～37 m/sec	特別警戒体制 特定の業種を除き企業操業停止。 できるだけ安全な場所に待機し、緊急対応部門と緊急救助部門は適宜対策の実施を準備。

○大 雨

青	12時間の降雨量が50mm 以上に達する見通し。	屋外の物品を屋内収納、高潮対策。 運転は、道路の水たまりと渋滞に注意、安全を確保。 畑、貯水池等の排水系をチェックし排水の準備。
黄	6時間の降雨量が50mm 以上に達する見通し、或いは 1 時間の降雨量が20mm 以上に達する見通し。	関連部門は地勢の低く浸水されやすい区域の排水、 浸水防止対策を実施。 畑、貯水池等の状況をチェックし、浸水されやすい池の水位を下げる。
オレンジ	3時間の降雨量は50mm 以上に達する見通し、或いは 1 時間の降雨量が30mm 以上に達する見通し。	屋外作業を一時停止。屋内または安全な場所に避難。 緊急対応部門と緊急救助部門は災害状況を監視、地勢の低い場所の屋外電源を切り対策を徹底。 交通管理部門は水溜りのある地域の交通を把握し規制。 危険地域の住民は安全な場所に移動
赤	3時間の降雨量は100mm 以上に達する見通し、或いは 1 時間の降雨量が60mm 以上に達する見通し。	安全な場所に留まり、屋外から即時安全な場所に避難。 関連緊急対応部門と緊急救助部門は対策実施を準備。 学校や会社にいる場合、関連部門は防護対策を実施。

参考資料

- ・中国气象局サイト
- ・《气象科学》雑誌2005年第6期“わが国の台風研究”
- ・中国气象ビデオサイト（www.mywtv.cn）
- ・中国台風サイト(www.typhoon.gov.cn)
- ・温州台風サイト（www.ii67.cn）
- ・百度文庫

以 上

執筆：瑛得管理諮詢(上海)有限公司 諮詢部 鄭雲龍

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。中国進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等は、下記の弊社お問い合わせ先、または、お近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

(株)インターリスク総研 コンサルティング第二部

TEL.03-5296-8918 <http://www.irric.co.jp/>

瑛得管理諮詢（上海）は、中国 上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

お問い合わせ先

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）

上海市浦東新区陸家嘴環路 1000 号 恒生銀行大廈 24 楼 142 室

TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。

また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2011